



鹽龍官 靈方 靈系 華湯 一貼代百文

御靈紅華湯之儀、往古醫道傳上和氣廣世、  
奥州の鎮守塩龍の宮小松籠を推護を蒙り請  
得し神授の予が先祖より一子相傳の大奇方之製法  
第一小淨を拂清淨の別向にあて茶種至極の二葉撰  
請合秘傳の靈茶を世の類葉に比す死儀を中し  
此製藥不用る鹽紅華を中茶胎中を補最上の良葉  
みで心腎の二臟へ入精氣を増一動氣を五臟六腑  
洞血の道之補以魂氣を強一肝を母り婦人懷妊  
用公胎中の子を養育大妙葉あり且人參攷加え  
元氣を補ひ沈香の香寮草を以て熱氣を逆し  
引心下の痞を除き其餘三十七味の主劑修治の  
製法の調煉ふる奇方あり世間の有茶とい搭  
別あり氣道血脈巡り不順人用ひ其病症を治す  
朝日霜霜の消々如く玄妙無双の神葉あり

夫人生質病あり夏稀る成長二體一喜怒哀樂  
悲歎驚怖の思ひを積且酒食不節を過一醉  
房入飲之其精を失て其真を耗散不時  
神を御一生樂逆を故二氣道血脈自然こも  
病根之除き天年之壽を保つべし又あり

上包一著牙の三十七條の難産の症此葉を用て効  
驗あり神の如く且産婦胎衣下らぬこの此葉二三  
貼吞尽一鳥の洞を咽入隔氣二三度又まじり  
昇の充あり吹入即座を返す神の如く脱血  
時温酒を以て用ひ神氣勞き男女心氣  
巡りのく血整及諸々の病の生れ懐胎  
多此葉二三劑用ひ氣血自然と循環一五臟六腑  
を補ふる懐胎する更誠二妙也

落馬打撲金瘡骨痛不用節煎洗ひ又吞て  
産後羊を重ね脚立かみ婦人又久病後の男子用て  
妙世世一の血の葉を以て験あり男女とも用て大妙葉あり

産前産後三日月り交合を禁ト此葉を服用するは  
萬人一人難産の愁なく安産する請合之九衆醫  
を末六難産あり此良葉を用て産に  
産せめ胎を健るしむるの奇妙不思議の天葉あり

石心迷いやく気血兩道より發る病は此靈紅華  
湯を産前産後不限男女とも常用ひ何病  
めくも即功を顕す神妙希代の奇方あり精神  
靈の効徳用ひく知り賜ふべし

御日本 奥加仙臺鹽龍町 貫堂  
製藥所 本店 同所  
免一家 出店 玉造屋壽助

江戸取次所 馬喰町三丁目 山屋藤兵衛

諸国出店取次所別紙記出

